



あいのわ福祉会

# Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
~安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します~



## <施設長より>

先日、癌研有明病院に行く機会があった。この病院に行ったのは3回目だが、行く度に思うのは、診療対象疾患を癌に特化している病院のためか来院する患者・家族・近親者全ての人に対する配慮が隅々に感じられることである。

まず、入口には病院の理念・基本方針がはっきりと掲げられている。「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」という使命、「創造・高質・親切・協調」という共有する価値観、「がん診療において世界に誇る病院となる」という将来展望である。高質と言う表現が珍しい。その他に患者さん中心の医療であり、自己の意思に基づいて診療を受けることができると明記されている。これは診療を拒否することもできるということで、当然と言えば当然であるが病院の玄関ではっきりと謳っている病院はあまりない。病気の面倒を見るだけでなくその人が「どう生きたいか」ということを大切にしてくれるのだと思う。

ボランティア活動も盛んで患者さんやご家族に社会とのつながりを感じてもらう機会を用意したり、穏やかで心地よいその人らしい日常生活を送っていただくためのお手伝いシステムがボランティアできている。具体的には、コンサートやイベントが頻回に開催されたり、常時お花があちらこちらに飾られていたり、院内にボランティア案内人がいたりする。また、ボランティアで「帽子クラブ」といって化学療法(抗がん剤)によって頭髪がなくなってしまった時の美容相談システムも確立されている。それぞれの得意分野や経験を生かしたボランティアが患者さんや家族に自らの意思で支援をし、社会との接点を常に供給するシステムのある施設という感じである。医療従事者でもなく家族でもないからこそ語ることができたり受け止められることがあるという。

他に1階奥のレストランの接遇は毎回本当に心が温まる。行く度に利用しているが、ただ丁寧なだけでなく高級レストランの丁寧な接遇とはまた違つて家庭の食卓で食事をするような肩のこらない空気を作ってくれる。それがまた自然で笑顔に嫌味がない。どんな研修をしているのかと思う。待ち合わせして食事をしない連れが来ても茶卓のついた湯のみをさりげなく持ってきて「ごゆっくりどうぞ」と声を掛けてくれる。がん治療に特化した病院だからこそ医療とは関係のない場を大切にしているところがいい。

私の3回の訪問はいずれも患者当人としてのものではないので入口の掲示からレストランや生け花までじっくりと観察していた。これらの対応を自分が患者当人の時はどう感じるのかとも考えるが、癌を患った生活者としての人間が中心であるという考え方から来る施設対応であり学ぶことが多い。

この病院は「人間がより良く幸福に生きるために施設」という広義の福祉施設的な在り方を目指しているのだろう。当施設のような狭義の福祉施設もこんなグローバルな感じにできたら良いのにと思った。

自己決定という言葉は福祉現場でよく用いられるが、「自己の意思に基づいて診療をうけることができる」と言い切っている一方、「自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください」ということもはっきりと示されていた。この自己決定はかなり難しそうである。

(太田 記)



## <事務室より>

花屋さんの店先にポインセチアやシクラメンが色鮮やかに並んでいるのを見ると師走になってきたんだなあと思わせます。今年も残りあと数日、アツと言う間の1年でした。過ぎ去る時間は年齢に関係なく皆平等に流れるけれど、歳を重ねるごとに過ぎ去る月日がとても早く感じられます。乗り物にたとえるならまるで電車から飛行機に乗り換えたような速さで時間が経過しました。

来年はウサギ年、はてさてどんな年になるんだろうか。ピョンピョンと飛び跳ねるウサギのように飛躍した年になるといいですね。



(山中 記)

## <保健室より>

癌になったけれど、今は回復して検査結果も正常というある俳優さんが講演会などでいつも最後に書くことは「夢は叶う」ということだそうです。「叶う」という字は口へんにプラスと書く、プラスのことを口にすることで夢は叶うんです、と言っていました。どうせ話すならプラス思考でポジティブなことを！！そうすれば自然と笑顔にもなり楽しくなってくると思います。年末年始を控えて夢が叶うように少しでもプラスなことを口にしていきたいものです。

(宇野 記)



## <2Fにこにこグループより>

12月のにこにこグループは22日(水)に行われたクリスマス会の出し物『マンマ・ミーア』の練習に日々励みました。練習のときは一度も全員が揃うことはなかったのですが、当日は予定のお休みの方以外、全員が出席！そして、出番の直前まで眠つてしまっていた方も自分たちの出番のときはバッチリ起きて、それぞれの役を一生懸命に演じました。残念ながら賞はもらえませんでしたが、皆が笑顔で演じることができたことが何よりでした。

さて、日々練習に励んでいたため、今年1年を振り返ることがまだできていません。28日に行われる忘年会で、今年の思い出に浸ります。

(草野 記)

## < 3F ゆいま～るグループより >

今年も4日で終わってしまいますね。皆さんにとっては、どんな年になりましたか？

さて、12月22日に全体クリスマス会がありました。ゆいま～るグループでは、ねずみの世界のお話の劇『14匹の晩御飯～ゆいま～る一家のクリスマスパーティー～』を演じました。毎日、練習を頑張り、本番では大成功！！そして、優勝することが出来ました。

今年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。



## < 4F グループより >

12月の4Fグループは、全体行事(クリスマス会)の準備で大忙しでした。出演者は出し物の打ち合わせや練習に一生懸命頑張りました。出演しない方も飾りや小道具を作り、出演者の分まで作業を頑張りました。イベントが大好きな皆さんは、準備から本番までとても楽しそうな様子でした。



(大山 記)

## < 全体行事より >

黒柳徹子(太田施設長)とタモリ(山中事務長)の司会からクリスマス会がスタート！！全体行事担当＆事務チームは『綾瀬ベストテン』と題して、森渕剛・高原聖子・AYS3が登場し、歌とダンスを披露しました！！

にこにこグループは、ミュージカルの『マンマミーア』を披露しました。5人のお父さんが登場するなど…驚くこともありましたが、皆さん楽しそうに踊っており、にこにこグループならではの発表でした！！

ゆいま～るグループは、ねずみの耳をつけ、ねずみになりきって演技をし、クリスマスパーティーを行ないました。ゆいま～るグループの、ほんわかとした暖かい雰囲気が伝わってきました。

4F グループは、『ハリー・ポッター』や『ごくせん』など、誰もが知っている映画のキャラクターやTVタレントになりきり、名場面を披露しています。会場からは、笑いが絶えませんでした。

厳選なる審査の結果…ゆいま～るグループが、優秀賞に輝きました！！おめでとうございました！！発表をしている皆さん一人ひとり、いきいきとして演じていたのが印象的でした。

(鈴木 記)



(相田 記)

## 今月のボランティアさん

さて、今月のボランティアさんは何人？



**11月22日～12月20日まで…**

**延べ 6 人！！**

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアを常時募集しております。

詳細については地域ボランティア担当 神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)宛にお電話ください。

(地域ボランティア担当)

## 1月の予定

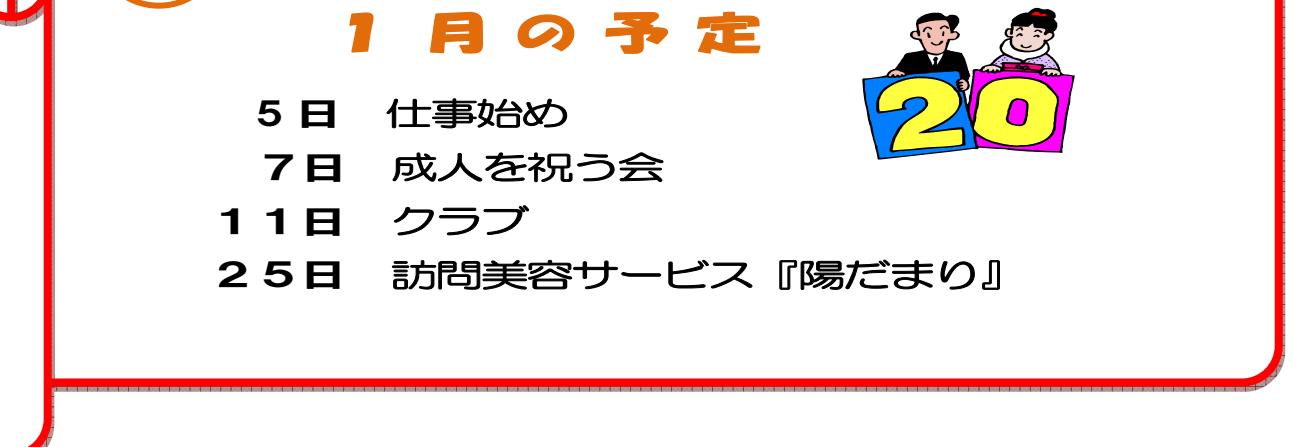
**5日 仕事始め**



**7日 成人を祝う会**

**11日 クラブ**

**25日 訪問美容サービス『陽だまり』**



## < パンダファミリー様より クリスマスプレゼント届く >



今年も毎年恒例となりました、パンダファミリー様より、クリスマスケーキのプレゼントがありました。ショートケーキに大きなチョコレートケーキ、皆さんおいしくいただきました。ありがとうございました。



## < 編集後記 >

今年も残りわずかとなりました。みなさん2010年はどんな1年でしたか？私は3月に大学を卒業し、4月からこの綾瀬あかしあ園で働くことができ、みなさんと出会えたことで、すごく充実した1年になったような気がします。来年もよろしくお願ひ致します。

(尾臺 記)